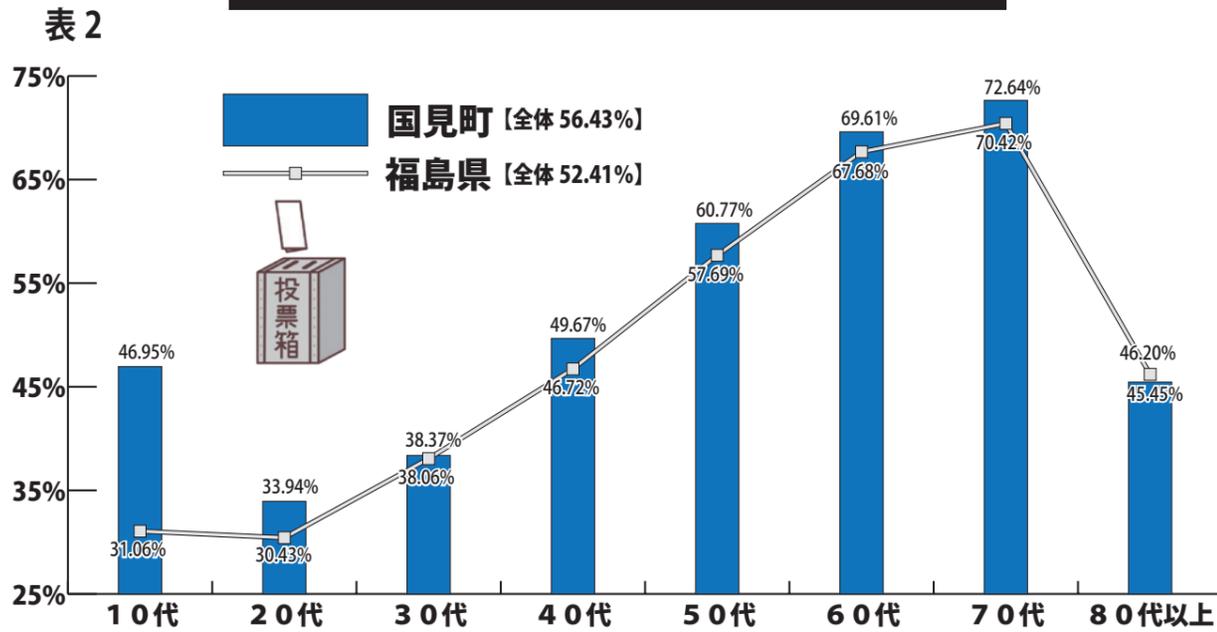


参議院選挙の年代別投票率



治に反映されないと問わずに、一人ひとりが自分の考えを政治に反映させようという気持ちを持つことが大切です。一人一票の積み重ねが重要なことの認識をする必要があります。

○未来のために 投票しよう！

選挙の主役は、私たちです。これからの社会で活躍が期待される若い世代が投票することは、未来に向けて大きな意味を持ちます。

平成28年の参議院選挙から選挙権が18歳以上となり、年齢によっては高校在学中でも投票できるようになりました。学校で政治や社会のしくみについて学び、学んだ知識を生かして投票する高校生の姿も多く見られます。

11月10日に行われる福島県議会議員選挙では、特に投票率が低い20歳代から30歳代の有権者には、選挙に関心をもち、投票するよう心がけてほしいものです。

「選挙」は、政治に参加できる手段として、私たちに与えられた機会の1つです。政治は、私たちの生活のありとあらゆる面で密接に結びついています。私たちの未来のために、私たちの声を政治に届ける必要があります。

選挙の主役は『私たち』です

○参議院選挙 過去最低の投票率に

7月21日に行われた第25回参議院議員通常選挙。国見町の投票率は56.43%で、投票したのは有権者の約半分程度という結果でした。前回（平成28年7月）の投票率63.90%に比べ7.47%低下がり、参議院選挙において過去最低の投票率（表1）となりました。

全国や県の投票率も全体的に低く、依然として国全体や県よりも投票率は高い状況で、国見町が突出して低いわけでありませんが低下率の大きさが気になるところです。

この低下率を投票者数で示すと、前回の参議院選挙から約600人少なくなっています。投票していない人には、さまざまな理由があるのですが、選挙や投票について、考えてみることにします。

参議院選挙の投票率

表 1	有権者数 (人)	投票者数 (人)	投票率 (%)	前回投票率 (%)	投票率前回比
藤田投票区	4,386	2,424	55.27	63.08	△ 7.81
小坂投票区	994	586	58.95	63.44	△ 4.49
森江野投票区	1,265	738	58.34	66.59	△ 8.25
大木戸投票区	880	487	55.34	61.43	△ 6.09
大枝投票区	487	286	58.73	69.42	△ 10.69
国見町合計	8,012	4,521	56.43	63.90	△ 7.47
福島県	1,600,928	839,115	52.41	57.12	△ 4.71
国	105,886,063	51,671,922	48.80	54.70	△ 5.90

○若い世代は 3人中2人が棄権

年代別投票率（表2）をみると、今回の参議院選挙では70歳代が最も高く72.64%、最も低いのが20歳代の33.94%でした。10歳代から40歳代の投票率は各年

代とも50%を下回っています。投票率が30%台の20歳代から30歳代では、3人のうち2人が投票していないこととなります。これは、若い世代の考えが政治にほとんど反映されないことにつながります。自分一人が投票しても政

11月10日(日)は 福島県議会議員選挙です

あなたの一票が 福島県の未来を決めます



選挙は政治に参加できる機会



国見町選挙管理委員会委員長 さいとう ひろし 齋藤 弘さん

過去の選挙において、国見町は、政治に対して非常に意識の高い町として見られてきました。いままでの投票率がこれを裏付けています。投票率が低いということは、一部の人の考えで政治が動くこと。多くの人の投票が政治の流れを変えます。行政・司法の職員を直接選ぶことはできませんが、議会（立法府）の議員だけは、有権者が選ぶことができます。直接政治に参加できる機会が選挙です。政治家は、民意によって働き方が変わります。

女性に参政権がない。高額な納税者だけが有権者。選挙権・投票権はこんな状態の中から、ようやく国民が手にした大事な権利です。みなさん、棄権せずに投票に参加しましょう。